

～保護者のみなさまへ～

1月		保健 だより	令和5年 1月17日
			立川市立 第六小学校
			保健室

1月の保健目標

てあら 手洗いをしよう

しんねん ほんねん
新年あけましておめでとございます。本年もよろしくお
ねが がつまつ こうせいるどうしよう
願いいいたします。12月末に厚生労働省から、インフルエン
りゆうこう い はっぴょう どうきょうと
ザ流行のシーズン入りが発表されました。東京都では、
げんざい しんがた かんせんしやういがい
現在、新型コロナウイルス感染症以外に、インフルエンザ
かんせんせい い ちやうえん かんじやすう ぞうか がつ ほけん
と感染性胃腸炎の患者数が増加しています。1月の保健

もくひょう てあら がつこう いまいちど かくにん かにい あらた
目標である手洗いについて、学校でも今一度、確認してまいります。ご家庭でも、改めて
かんせんしやうたいさく
感染症対策についてお話しください。

せい かんが 性について考える

だい かい せい 第4回 性はグラデーション

せんげつ
先月のこのコーナーでは、4つの性(体の性、心の性、好きになる人の性、表現する性)
について、紹介しました。その4つの性についても、「男」と「女」のふたつではなくて下の図
のようなグラデーションと考えると分かりやすいと思います。

せい たよう だんせい じよせい にんしき あ ひと
性は、多様で、男性または女性と認識している人、どちらにも当てはまらない人、どちらか
わからないという人もいます。自分の性が多様な性のあり方のひとつだということを知ること
が大切です。

せい たい にんしき ひやうげん ひと なか へんか しようしやうき
また、性に対する認識や表現は、それぞれの人の中で変化をすることもあります。幼少期
やししゆんき せいねんき おとな せい たい にんしき ひやうげん へんか ひと
や思春期、青年期、大人になってからでも、性に対しての認識や表現が変化していく人も
います。周囲が、そのときのその人自身を受け止めるということが大切だと思ひます。

だんせい
男性



じよせい
女性

それ以外

わからない

さんこう: サッコ先生と！ からだこころ研究所 小学生と考える「性ってなに？」

がっこう し かい
学校 歯科医
かいとう
からの回答

11がつ ほけん 11月の保健だよりで募集した質問について、学校歯科医の先生より回答
けいさい
がありましたので、掲載いたします。

- Q. ・まだ、自分だけでは、磨き残しがあるため、親が仕上げ磨きをしています。何歳まで仕上げ磨きを続けるのが良いでしょうか。(1年)
・仕上げ磨きは、何歳ごろまで親がやってあげるべきなのか知りたいです。(3年)

A. 小学生のうちには仕上げ磨きを行うことが推奨されます。乳歯と永久歯とが混ざり合う混合歯列期は虫歯になりやすいという点と、口唇、舌や手などの「食べる」ことに対して重要な部位は、とても敏感であるため、スキンシップの一環としても重要と考えられています。

- Q. 子どもが上手に歯を磨けるやり方(順番など)やコツはありますか。(1年)

A. 子どものうちに正しい歯磨きを身に付けるということは、健やかな未来を迎えるためにも非常に重要になります。六小では歯科講話を通して、歯磨きの方法についてお伝えしておりますが、大切なことは歯面に対して歯ブラシの毛先がまっすぐに接するようにして、歯のそれぞれの面を細かく磨くイメージで行うことです。

- Q. 歯科医の判断になるとと思いますが、どのような歯並びだと矯正しないといけないのでしょうか(2年)

A. 上顎と下顎のバランスの乱れが顕著な場合(受け口など)や、鉗状咬合と呼ばれる下の歯が上の歯よりも頬側にズレている場合、6歳臼歯が生えてくるのが遅い場合は、かかりつけの歯科医師に相談することが望ましいです。

- Q. 虫歯になりやすい歯、なりづらい歯があるというのは本当でしょうか(2年)

A. 一概に断定することは難しいですが、歯の質や口腔内環境によって影響を受けることは考えられます。どちらにしても、しっかりとした歯ブラシの習慣が大切になります。学術的には様々な見解があるものの、学会基準では、食べたらずぐに磨くことを推奨しており、その習慣が非常に大切になります。全国的に虫歯は減少しておりますが、成人以降では歯周病のリスクが増大してきます。

- Q. 奥歯の側面(頬側)の溝が途中から深くなっていて、歯科医からシーラントを勧められました。インターネットで調べてみると、メリットとデメリットがあるようで、悩んでいます。学校の歯科医の先生のご意見をお伺いしたいです。(2年)

A. 虫歯になりやすい歯に対してシーラントを行う意義は大きいと考えられます。特に乳歯と永久歯の交換期は虫歯のリスクが高いため、歯ブラシの習慣ができていなくて、複数の歯に虫歯が見られる場合は、シーラント処置を行う方が良いかと思われれます。